

2020年5月25日 配信

附属旭川中学校 第2学年 社会科

課題7：何のために地域を分けるのか考えよう。

※課題5と課題6は、5月19日の分散登校時にお知らせ済みです。

【やり方】

- ①日本でよく使われている次の地域名に含まれる都道府県名をノートに書く。
(九州沖縄)(山陰)(山陽)(東海)(北陸)(関東甲信越)(日本海側)(太平洋側)(内陸部)(北日本)
(東日本)(西日本)(西南日本)(東北日本)(関西)(首都圏)(関西圏)
- ②北海道で使われている行政区について、地図帳から読み取り、地域名を明らかにする。
(〇〇総合振興局とか△△振興局とか)
- ③北海道内で使われる次の地域区分について、どこの振興局が含まれるかノートに書く。
(太平洋側)(日本海側)(オホーツク海側)
- ④人々は何のために地域を区分をするのかを考え、ノートに書く。

【アドバイス等】

- ①天気予報では地域をどのように分けているか注目してみよう。
- ②旭川から(太平洋側)(日本海側)(オホーツク海側)の距離を地図帳で測ってみよう。
- ③いろいろな地域区分の方法があることを教科書の p.134～p.135 を読んで確認してみよう。

【連絡です】

「課題5」の提出日…6月2日(火)です。